



荒明 勝君

次週は 五十嵐 三郎君



会報

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 411 号

1967.7.18(火) 晴

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや

② 0707.2838

事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ② 5775

ロータリアンとしてのあなたの 資格を効果的に

Make Your Rotary
membership effective



5月	地区別 出席順位	62ク ラブ	51位	会員 61名	出席率 87.54%	前月 43 順位
----	-------------	-----------	-----	-----------	---------------	----------------

卓話 吾国のエネルギー問題 池内方平君

出席報告

本日の出席 会 員 数 62名
出 席 数 47名
出 席 率 75.81%

前回の出席 前回出席率 79.03%
修正出席数 56名
確定出席率 90.32%

欠 席 者 千葉君、平田(圭)君、八丁目
君、小池君、五十嵐(八)君、
嶺岸君、黒谷君、松田君、男
綱君、斎藤(信)君、佐藤(伊)
君、佐藤(仁)君、高橋君、辻
君、藪田君

マークアップ 長谷川君、五十嵐(三)君、松
田君、中台君、佐藤(昇)君
一鶴岡西RC

金井君一東京西RC
大竹君一酒田RC

ビジター 菅原和助君一酒田RC
佐藤拓君、原田行雄君
一鶴岡西RC

ソング 奉仕の理想 リーダー 三井(健)君

司 会 会長 斎藤(得)君

卓 話 吾国のエネルギー問題

近代社会に於けるエネルギーの消耗は莫大なるものがある。吾国に於ても戦後の国民生活向上並びに産業界の急激な発展により、エネルギーの消耗は急速に増大し今後も亦過去に於けると同様な速度で増加するであらうと想像すると同時に之からの増大するエネルギーを如何にして確保して行くかと云うことが重大問題である。

吾国のエネルギーの需要は過去10年間は毎平均11%の割合でめざましい伸びを示し、その過程でエネルギーの需要構造も大きく変って居る。

第 1 表

各エネルギー源	昭和30年度	昭和40年度
電力	24.0%	26.8%
石炭	30.8	6.9
コークス	6.4	6.2
石油	19.7	42.2
都市ガス	2.0	2.1
その他	17.1	8.7
総エネルギー -石油換算	5,125万kl	14,575万kl (2.8倍)

此の10年間の推移を見ると、総エネルギーの増加は2.8倍にもなり、石炭エネルギーが急激に低下し、石油エネルギーの増加が著しい事に気付くのである。

此需要構造の変化は一言でいえば石炭から石油へ之はつまりエネルギーの流体化と云うことである。

つまりこの10年間に需要は石油換算で9,400万kl増加したのであるが其の内65%が石油、28%が電力、6%がコークスによって占められ石炭は逆に6%減少を示している。

第 2 表 最終エネルギー需要の推移

(需要部門別石油換算1000kl)

	昭和30年度		昭和40年度	
	千kl	%	千kl	%
鉱工業部門	26,559	52%	74,618	51%
(鉄鋼)	(6,290)		(22,707)	
(其他鉱工業)	(20,309)		(51,911)	
エネルギー部門	3,466	6.8%	9,349	6%
運輸部門	7,975	15.5%	20,714	14.5%
農林水産部門	1,351	2.5%	3,413	2.5%
民生其他部門	11,192	22%	27,441	20%
非エネルギー部門	671	1.2%	10,221	7.0%
合計	51,254	100%	145,756	100%

上記の表中で伸びの大きいのは非エネルギー部門の倍、鉄鋼の3.6倍である。

非エネルギー部門というのは石油化学用のナフサ(石油化学の原料となる粗製ガソリン)需要とか自動車用潤滑油とか肥料製造のための原油需要などエネルギー物質をエネルギーとして使うのではなく、原料として使う部門を云う。

このように非エネルギー部門が伸びたのは自動車の普及による潤滑油の需要の増大なども考えられるがなんと云っても石油化学田のナフサ需要の増大によるものである。この結果各部門の構成比を見ると第2表でわかる様

に30年度には鉄鋼を含む鉱工業部門と石油化学工業を含む非エネルギー部門を合計して53%だったが、40年度には58%に増加しているのに反しその他の部門はいずれも少しずつその%が低下している。つまり吾国のエネルギー需要の伸びは主として鉄鋼等と石油化学工業の生産増大を反映してきたことが了解出来る。電気エネルギーについて少し考察して見ると吾国に於て過去、現在共エネルギー源として重要な位置を占めている電力の発電量と其内訳を示すと次の通り

第 3 表 (昭和40年度発電量1,676億 KWH)

水力	42%
石炭火力	26%
石油火力	32%

電力の需要はこの10年間に2倍に増え、昭和50年度には発電量3,940億KWHになると推定されている。

第 4 表

発電電力量に占める各エネルギー割合

	年 度				
	35	40	45	50	60
水力	52%	42%	30%	21%	13%
石炭火力	30	26	27	17	9
石油火力	18	32	43	55	48
原子力	0	0	僅少	7	30
	100	100	100	100	100

(次号に続く)

幹事報告

会報到着 本荘RC、能代RC、
会津坂下RC

例会場変更 能代RC

一能代営林署後谷地事務所

日時変更 7月28日 12.10~13.10

寒河江RC 7.20 後5.00

8.10 後6.30

役員理事通知 大江RC、浦和RC

登録料改定 上山RC (500円)

新居浜南RC 11月26日

認証状伝達式予算案内

第369区区次大会 倉敷RC

10月21.22.23日

第359区区次大会 横須賀RC

10月19.20.21日

クラブ・フォーラムの開催

7月25日(火)午後6.30分 美園グリン

会費1,000円

新会員は勿論のこと、会員多数の御出席をねがいます。